

7 「架け橋期のカリキュラム」(検討)の作成に向けて

育みたい資質・能力を踏まえ、架け橋期の教育・保育については、施設類型を越えて子どもの成長を切れ目なく支える観点から「架け橋期のカリキュラム(検討)」の作成に向けて協働していくことは、その後の育ちと学びにつながることも重要です。

<「5歳児のカリキュラム・スタートカリキュラム」の共有>

入学後の授業計画や卒園前の保育計画を交換するなどにより、卒園・入学前後の取組について情報共有や相互理解しながら、「5歳児のカリキュラム(アプローチカリキュラム)」「スタートカリキュラム」を共有・改善していくことが大切です。

スタートカリキュラムとは



小学校へ入学した子どもが、幼稚園・保育所・認定こども園などの遊びや生活を通じた育ちや学びを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を作り出していくためのカリキュラム

アプローチカリキュラム※とは



小学校の先取りの教育ではなく、小学校以降の教育を見通しながら、その基盤となる資質・能力を育成していくことを踏まえて、教育活動を実施するためのカリキュラム

※文部科学省として正式に使用している用語ではありませんが、小学校以降の教育との接続を確かなものにするために、各自治体において進められている取組のひとつ。
名称や内容、時期の捉え方は自治体によって異なります。

<架け橋期のカリキュラム（検討）の検討・開発>

架け橋期の2年間について、就学前施設と小学校が協働し、共通の視点を持ち教育課程や指導計画等を具体化できるよう、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりとし、育みたい資質・能力を視野に入れながら検討・開発していきます。

幼稚園・保育所・認定こども園	架け橋期 (5歳児・小学1年生)	小学校
<p>遊びの中に見られる学びの芽</p> <p>幼児期の教育は遊びを通して学びです。遊びの中にどのような学びがあるかを知ることが大切です。</p> <p>「はなびたいかい」の遊びの中で</p> <p>楽しかった夏祭りから発想を得て、年長児のみんなは「はなびたいかい」を計画。約りや着せぬのコーナー遊びに基のみんなを招待した後、花火が打ち上げられました。</p> <p>遊びの中の学び</p> <p>花火の出し方、音、タイミングなどを体験し、試行錯誤しながら遊びを盛り上げます。思いや考えを伝え合い、表現するなど「思考力・判断力・表現力の基礎」が育っています。</p> <p>しりとり遊びの中で</p> <p>脚置前のひと将「りんご」「ごりら」「らっば」「ばせり」…思いついた言葉をつなげ、しりとりをしています。最後はみんなで一緒に読み合っており、言葉のリズムも楽しんでいます。</p> <p>遊びの中の学び</p> <p>知っている言葉を伝え、つなぐ楽しさを味わいながら、相手の意図を理解し、文字にも関心をもちます。できたしりとりを友達と一緒に読むことで、一体感を味わっています。</p>	<p>資質・能力が育まれている幼児の具体的な姿として、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康な心と体 自立心 協同性 道徳性・規範意識の芽生え 社会生活との関わり 探究力の芽生え 自然との関わり・生命尊重 数や図形・図表や文字などへの関心・感覚 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現 <p>【実施】5/5日幼児教育と小学校連携のカリキュラムコンソーシアジョン開催 京都府教育委員会 京都府立総合学習センター 京都府立総合学習センター</p>	<p>幼児教育の連続性を意識したカリキュラム</p> <p>遊びと学びの「つながり」を意識した授業改善に取り組むことで、「主体的・対話的で深い学び」を実現します。</p> <p>合科的・関連的な授業（スタートカリキュラム）</p> <p>「今何人？」「4人！」「次は8人になるで！」 慣れ親しんだじゃんけん列車の遊びの中で、担任の数を意識した言葉かけが子どもの興付きを引き出します。</p> <p>幼児期の育ちとのつながり</p> <p>劇になると多くの場で行う手振り。「美しいるどね」「どっちが大きい？」「らっばったよ」など、生活や遊びの中で何度も感覚が身に付いています。</p> <p>幼児教育とのつながり（生活科）</p> <p>「どうやって車がよく走るかな」グループのめあてに因りて話し合います。「坂道作ろう！」「ぞち持って」と相談しながら角度や長さを見直しします。</p> <p>幼児期の育ちとのつながり</p> <p>日々の表現活動から遊びが始まりクラス全体の取組になっています。グループの中で「裏話作るね」「書物は私が書くよ」など協力する楽しさや大切さを感じ成長しています。</p>

京都府幼児教育センターリーフレットより

<架け橋期のカリキュラム（検討）の実施を踏まえた検証・改善>

架け橋期のカリキュラム（検討）を実施する中で、子どもたちの姿を通じ、持続的・発展的な架け橋期のカリキュラム（検討）となるよう検証・改善をしていきます。その際に、スタートカリキュラムや5歳児のカリキュラム（アプローチカリキュラム）をはじめ、教育課程や指導計画等の検証・改善も含めて取組を進めていきます。

